

公益財団法人 日本サッカー協会
2021年度 第5回理事会

2021年5月13日

決議事項

1. JFA アジア貢献事業 指導者海外派遣（新規）の件
<p>(決議) 資料 1</p> <p>JFA アジア貢献事業の一環として、新たに海外に派遣する指導者1名を選任したい。</p> <p>派遣指導者： 江口 なおみ (えぐち なおみ)</p> <p>資 格： NASM 認定 パーソナルトレーナー KAATSU GLOBAL 認定 加圧トレーニングインストラクター 日本健康予防医学会認定 関節運動指導士 (旧リアライン・トレーナー) Rehab-U 認定 スポーツリハビリトレーニングスペシャリスト Precision Nutrition 認定 スポーツニュートリショニスト</p> <p>派遣先協会： タイサッカー協会 (FAT)</p> <p>役 職： 女子代表 兼 U-20 女子代表 フィジカルコーチ</p> <p>契約期間： 2021年6月1日～2022年1月31日</p> <p>費用負担： [JFA] 傷害保険料 [FAT] 給与・住居・カナダ-タイ間の航空券</p>
2. 令和3年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技 人工芝ピッチ利用の件
<p>(決議) 資料 2 <高体連からの依頼文書></p> <p>高体連主催の令和3年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技の使用会場のうち、JFA ロングパイル人工芝として公認されていない会場を以下の理由で使用することを「JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認制度ガイドブック」の特例として認めたい。なお、同会場の人工芝は高体連役員による現地視察を完了しており、全国大会での使用可能と判断をしている。</p> <p>●本大会会場利用条件（大会要項）</p> <p>(1) 天然芝及び人工芝フィールドにて行う（土のフィールドは利用不可）。</p> <p>(2) 人工芝フィールド利用にあたっては原則下記の通り定める。</p> <p>ア 人工芝フィールドは「JFA ロングパイル人工芝公認ピッチ」であること。</p> <p>イ 人工芝フィールド利用にあたり、開催県で特別な事情がある場合は、 (公財) 日本サッカー協会及び本連盟において別途協議する。</p> <p>●期日：2021年8月14日(土)～8月22日(日)</p> <p>●開催地：福井県/坂井市、福井市</p> <p>●開催会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクノポート福井総合公園スタジアム(天然芝) / 芝生広場(天然芝) ・日東シンコースタジアム丸岡サッカー場(天然芝) ・日東シンコースタジアム丸岡人工芝グラウンド北/南コート(人工芝) ※未公認 (2面) ・三国運動公園陸上競技場(天然芝) ・三国運動公園人工芝グラウンド(人工芝) ※未公認 ・福井運動公園補助競技場(天然芝)

●未公認会場の使用理由

- ・開催地の福井県がコンパクトな開催とするため、サッカー競技は坂井市内で開催することを決めた。
- ・男女 66 試合を行うには坂井市内の天然芝会場だけでは会場が足りない状況にあるが、通常、10 会場の 7 日間開催となることを暑熱対策や会場数を考慮して 8 会場 9 日間の開催に変更するとともに未公認人工芝を確保した。
- ・未公認人工芝の公認申請に向けた整備費用は、開催自治体の経費削減により捻出が困難である。
- ・同様に、未公認人工芝の整備費用を含めた公認申請費用は、開催自治体の経費削減により捻出が困難である。

【JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認制度ガイドブック】

本協会が主催する国内競技会において、競技のフィールドに人工芝フィールドが用いられる場合、その表面は FIFA サッカー芝クオリティプログラム (FIFA Quality Programme for Football Turf) または、国際試合基準 (International Match Standard) もしくは「JFA ロングパイル人工芝公認ピッチ」の要件を満たさなければならない。

なお、人工芝フィールドの利用については各競技会規定もしくは施設基準等に記載するものとする。ただし、本協会が主催するユース年代のリーグ戦、年長者、グラスルーツの競技会における人工芝フィールドの利用及び本協会から特別な適用免除を受けた場合はこの限りではない。

※免除対象となる理由

ユース年代 (2 種・3 種・4 種) のリーグ戦を推進するにあたり、ホーム&アウェイ方式の公式試合において、学校等が所有する人工芝フィールドの利用と年長者、グラスルーツの競技会に積極的な利活用ができるようにするため。

(JFA ロングパイル人工芝を使用する競技会)

国民体育大会

全国社会人サッカー大会

全国クラブチームサッカー選手権大会

総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント

全日本大学サッカー選手権大会

全国専門学校サッカー選手権大会

全国高等専門学校体育大会 兼 全国高等専門学校サッカー選手権大会

日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会

全国高等学校総合体育大会サッカー競技

全国中学校体育大会/全国中学校サッカー大会

日本スポーツマスターズ (サッカー競技)

3. 令和3年度全国中学校体育大会 第52回全日本中学校サッカー大会 人工芝ピッチ利用の件

(決議)資料3 <中体連からの依頼文書>

中体連主催の令和3年度全国中学校体育大会 第52回全日本中学校サッカー大会の使用会場のうち、JFA ロングパイル人工芝として公認されていない会場を以下の理由で使用することを「JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認制度ガイドブック」の特例として認めたい。

なお、同会場の人工芝は中体連役員による現地視察を完了しており、全国大会での使用可能と判断をしている。

●期日：2021年8月19日(木)～8月23日(月)

●開催地：山梨県/甲府市、富士吉田市、都留市、山中湖村、富士河口湖町

●開催会場

- ・小瀬スポーツ公園陸上競技場(天然芝)
- ・富士北麓公園陸上競技場(天然芝)
- ・富士北麓公園球技場(天然芝)
- ・河口湖くぬぎ平スポーツ公園サッカー場(天然芝)
- ・河口湖くぬぎ平スポーツ公園サブサッカー場(天然芝)
- ・河口湖くぬぎ平人工芝グラウンドA面(人工芝) ※公認
- ・河口湖くぬぎ平人工芝グラウンドB面(人工芝) ※公認
- ・都留市総合運動公園やまびこ競技場(天然芝)
- ・山中湖交流プラザきららサッカー場(人工芝) ※未公認

●未公認会場の使用理由

- ・熱中症予防の観点から1会場2試合までとすると、1回戦について8会場を確保する必要がある。しかしながら、開催地自治体内での確保可能な天然芝、公認人工芝の会場は7会場で、1会場不足する状況にある。
- ・富士五湖周辺は標高も高く、施設は湖畔にあり、気候的な条件などを考慮すると適切な環境にあるが、そのピッチを使用できない場合は他の会場で行う試合数が増加し、暑い時間帯に試合を設定せざるを得なくなる。しかも、試合と試合の時間が空いてしまうスケジュールになるため、次回戦への対戦チームの平等性を確保することが困難な状況となる。
- ・未公認人工芝の整備費用を含めた公認申請費用は、開催自治体の経費削減により、捻出が困難である。

【JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認制度ガイドブック】

本協会が主催する国内競技会において、競技のフィールドに人工芝フィールドが用いられる場合、その表面は FIFA サッカー芝クオリティプログラム (FIFA Quality Programme for Football Turf) または国際試合基準 (International Match Standard) もしくは「JFA ロングパイル人工芝公認ピッチ」の要件を満さなければならない。

なお、人工芝フィールドの利用については各競技会規定もしくは施設基準等に記載するものとする。ただし、本協会が主催するユース年代のリーグ戦、年長者、グラスルーツの競技会における人工芝フィールドの利用及び本協会から特別な適用免除を受けた場合はこの限りではない。

※免除対象となる理由

ユース年代 (2種・3種・4種) のリーグ戦を推進するにあたり、ホーム&アウェイ方式の公式試合において学校などが所有する人工芝フィールドの利用と、年長者、グラスルーツの競技会に

積極的な利活用ができるようにするため。

(JFA ロングパイル人工芝を使用する競技会)

国民体育大会

全国社会人サッカー大会

全国クラブチームサッカー選手権大会

総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント

全日本大学サッカー選手権大会

全国専門学校サッカー選手権大会

全国高等専門学校体育大会 兼 全国高等専門学校サッカー選手権大会

日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会

全国高等学校総合体育大会サッカー競技

全国中学校体育大会/全国中学校サッカー大会

日本スポーツマスターズ (サッカー競技)

4. 協会納付金免除の件

加盟団体規則第 18 条に定められる協会納付金について、2020 年 3 月より続くコロナ禍の影響を考慮し、2020 年シーズン (2021 年 3 月 31 日までに開催された競技会) に続いて、2021 年シーズンについても主催者による入場料収入の 3%相当額の JFA への納付を免除することとしたい。

(JFA が主催、共同主催又は後援する有料競技会においても同様)